



優秀賞

愛知県 一宮遊技業協同組合  
「福祉施設及び身体障がい者施設並びに  
母子家庭児童の1日バス旅行招待」事業



一宮遊技業協同組合 理事長  
平沼基成さん

施設入所者や母子家庭の  
子どもたちに  
「ひと夏の思い出」を提供し続ける

バス旅行に目を輝かせる子どもたち

愛知県遊技業協同組合を構成する支部のひとつ、一宮遊技業協同組合(以下、一宮遊協)では、一宮市内にある福祉施設や身体障がい者施設などの入所者、ならびに母子家庭の子どもたちを対象に、楽しい夏休みの思い出を提供したいという願いから、毎年、1日バス旅行招待を行っている。

この事業がスタートしたのは1986年のことで、それ以来継続して実施されており、これまでこのバス旅行に参加した人の数は、延べ約7500名にのぼるというから、継続の力というものを思い知らされる。

2011年度は一宮市内の8つの福祉施設、および母子家庭の子どもたちの合計271名が、一宮遊協がチャーターした観光バス7台に分乗し、愛知県蒲郡市にある「ラグーナ蒲郡」を訪れた。この施設は自然豊かな三河湾に面し、エンターテインメント、グルメ、ショッピングなどが楽しめる複合型マリリゾートである。

子どもたちは、このバス旅行を相当楽しみにしていたらしく、事前にさまざまな計画を立てていたこと、さらに当日はアトラクションや食事などに大満足した様子が、招待した施設の職員からのお礼状や子どもたちから寄せられた感想文などの文面から読み取ることができる。「園に帰って来てからも、ラグーナ蒲郡で遊んだことを目をキラキラさせ、話しておりました」と、参加した施設の園長からの手紙にもあるように、子どもたちにとって、このバス旅行が忘れられない思い出として心に刻まれたことと思う。また、介助者として同伴した施設利用者の親の方々も日ごろの忙しさを忘れ、子どもと一緒に楽しむことができ、とても喜んでいたという礼状も届いている。

事業継続のために地元の社会福祉法人と協力

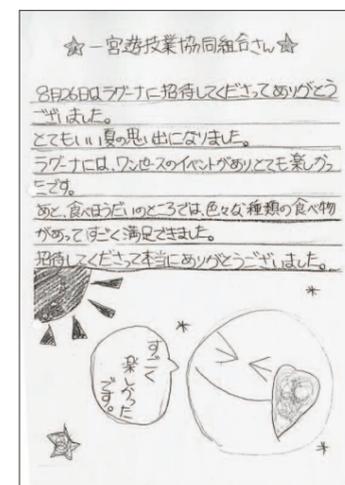
この事業の特徴は、やはり「継続性」ということにある。ものごとを始めるときは勢いや偶然でもできるが、一度始めたことを継続させるには、強い意志や周到な計画が必



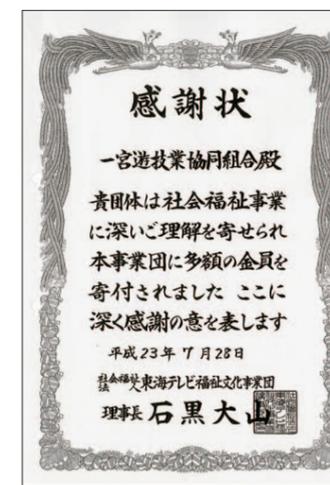
観光バス7台をチャーターし、一宮市内の8つの福祉施設、および母子家庭の子どもたちの合計271名を招待



子どもたちにとっては忘れられない楽しい1日になった



参加した子どもから送られた感謝の手紙



東海テレビ福祉文化事業団から贈られた感謝状

要である。その意味でも、一宮遊協がこの事業を26年も継続していることの意義は大きい。

地域社会からも、やはりその点が高く評価されている。一宮市長からは毎年、礼状が届けられているし、事業の対象となる福祉関係施設からも、景気が低迷し、厳しい経済情勢のなかにあっても、子どもたちに夢と思い出を提供し続けてほしいという要望が寄せられている。

継続させるためには周到な計画や協力関係の構築も欠かせないポイントだが、一宮遊協では組合員全員の承

認を得て毎年、事業計画にこの事業を組み入れて実施しているし、社会福祉法人「東海テレビ福祉文化事業団」からの協力も得ている。東海テレビ福祉文化事業団は、東海地方の社会福祉向上のために1979年に設立された団体で、年間を通じて「愛の鈴しあわせキャンペーン」を展開し、障がい者福祉、老人福祉、児童福祉などの8事業を推進している。こうした福祉事業におけるプロフェッショナルともいえる団体と協力体制を築いていることも、この事業の効果的な実施の後押しとなっている。同団体からは毎年、感謝状を贈ら

れているだけでなく、バス旅行の様子は東海テレビ放送で実施当日と翌日の2回、放映され、広く市民の知るところとなっている。また、一宮市福祉課、尾張ヤクルト販売(株)、日本ハム販売(株)などの協力も得て、万全の態勢で事業の実施と継続に取り組んでいる。

どうしても出かける機会が少なくなりがちな子どもたちに、これからも継続して夢と思い出を提供し続けていくことが、業界の社会的認知の向上にもつながっていくだろう。